

It's ME Camp 2018

様々な文化背景をもつ中高生を応援する多文化キャンプ！レポート



9 カ国にルーツをもつ中高生&大人 50 人が参加

多様な人と出会い、それぞれが胸をはって「It's ME! (これが私よ!)」と自己表現し合った2日間でした!

外国人の人口が全国2位の「多文化県あいち」には、日本で生まれたり幼少期に来日した子ども達もたくさんいます。…だったら若者主体の国際交流をしよう!と始めた『It's ME Camp』。2回目の今年は、日本・ブラジル・朝鮮韓国・フィリピン・ペルー・ナイジェリア・アメリカの各国につながりをもつ中高生20人と、それらの国に加えコロンビア・ベナン共和国につながりをもつボランティア約30人が集まりました。複数の言語が飛び交う中、皆が一つにした想いとは…?

program 1



ビデオワークショップ

自分たちが共感する曲を選び、独自のプロモーションビデオを制作!

program 2



キャンプファイヤー

皆の前で発表したい歌や踊りを各自が披露! ブラジル太鼓も参戦!

program 3



ウォークラリー

チェックポイントで“カッコいい大人”の話を聞くマジメラリー!

参加者の声



“言葉が通じなくてもコミュニケーションの方法をいろいろ考えて楽しめたことがクールでした!”

原文: 実務



“偏見は社会構造として存在するが、僕自身は、このキャンプのおかげでそれを無くすことができました。”

原文: ボルトガル語



“このキャンプで2つのことを深く学びました。1つは、日本は良い国だってこと。2つ目は、違う国の人と一緒に過ごすのは楽しいということです。”

原文: ボルトガル語



“皆それぞれ不安や悩みがあるんだと知れたし、それでも日本で自分のルーツを学び、自分らしく生きていくことが本当に大事なことだと感じました。”

原文: 日本語

事後アンケート(匿名)より

“みんなちがう” = おもしろい!

たった2日間で、まるで旧友のように仲良くなってしまうティーンエイジャーの力にびっくり!

友達と一緒に参加した人も1人で参加した人も、日本の公立学校に通っている人も外国人学校に通っている人も、2日目の昼食(BBQ)時にはすっかりごちゃまぜになって楽しんでいました。あまりに自然なその光景に、引率で来られた先生方もびっくり。事後アンケートによると、一番楽しかったプログラムは「キャンプファイヤー」が最多でした。炎に照らされながら自己解放し合った経験が、お互いの距離をぐっと縮めたのかもしれませんが。参加者全員が「また参加したい」と回答してくれました。



多様な人との出会いが “そのままでもいい”を後押しする

10代の思春期は、まわりの人に様々な影響を受けながら自分自身を深く見つめる時期です。他者との違いにも敏感になりがちなこの時期に、“外国生まれ”や“親が外国人”という若者は、「自分は何者か」と悩み葛藤に苦しむことが少なくありません。

そこで、できるだけ多様な人に出会うことによって世界観を広げ、“まわりと違う自分”を肯定的にとらえられるような機会をつくろうと考えました。これから日本社会の中で自分らしく生きていってほしいから…。It's ME Campは、日本で育つ子ども達の成長と可能性を促すため、多様性を認め合える社会づくりに今後も全力を注ぎます。



ご支援いただいた皆様へ

この度はIt's ME Campをご支援いただき、誠にありがとうございました。このキャンプは社会的マイノリティの若者を応援するためのものですが、応援しているのは主催者やボランティアだけでなく、もっと多くの人たちが支えてくださっているのだと彼/彼女たちに伝えることができたことは、非常に大きな意義がありました。日本社会に対する肯定感や信頼感をも育んでいくためには、皆様のお力が必要不可欠です。どうか今後とも温かいご支援を宜しくお願いいたします。

保護者から届いたメッセージ

今回はとても有意義な時間をありがとうございました。(中略)息子が、これまでの人生で最高の週末の一つだと言って帰って来たことが、本当にうれしかった。心から感謝しています。

原文:ポルトガル語



See you again!